

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/10/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



供給過剰見通しで今年最安値圏へ

NY原油先物相場は、1バレル=56.15ドルまで値下がりし、5月5日以来の安値を更新した。根強い需給緩和見通しが、米中対立の激化に対する警戒感で強化され、60ドルの節目割れ後の一段安が打診された。年初来安値更新には至らなかったが、今年最安値圏での取引になっている。

国際エネルギー機関（IEA）は10月14日に発表した月報で、世界の原油需給バランスは年初から日量190万バレルの供給過剰になっていると報告した。2025年の世界石油需要の伸びは日量70万バレルに留まる見通しだが、石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産縮小に加えて、北南米の増産が続くことが、国際需給を歪めている。今後は洋上在庫が陸揚げされることで、陸上在庫の増加が進む見通しが示されている。この状況で米中対立激化が警戒されたことが、原油安を加速させた。ただし、トランプ米大統領は10月10日、米中高関税は「持続不可能」との見通しを示したことで、週末にかけては57ドル台前半まで切り返した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月10日時点）は、原油が前週比352万バレル増、ガソリンが27万バレル減、石油精製品が453万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和で戻り売り、米中緊張緩和でも上値重い

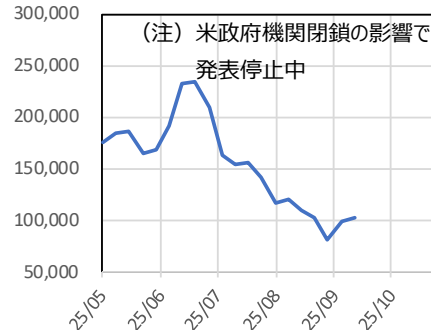
需給緩和見通しを背景に戻り売り優勢の展開が続く見通し。原油価格は抑制されても、通常想定される需要喚起や供給抑制の効果は期待できない。このまま大きな供給障害の発生がなければ、年末に向けて供給過剰状態が続く見通し。米中関係悪化に対する警戒感が後退していることはポジティブだが、それを考慮に入れても供給過剰見通しは崩れない。4月9日に付けた今年最安値55.12ドル割れを試す展開を想定したい。

米中関係は依然として流動的だが、少なくとも月末の米中首脳会談は開催される可能性が高まっている。トランプ米大統領は10月10日、中国のレアアース輸出規制の動きに強く反発し、首脳会談開催を見送る可能性を示唆していた。しかし、17日には中国との間で広範な貿易合意を実現できるとの期待感を示している。米中間で緊張緩和に向けた取り組みが強化されると、急落リスクは後退する。

ただし、いずれにしても大規模な供給過剰が発生する見通しに変化はみられない。特に石油輸出国機構（OPEC）プラスは既に11月までの減産縮小（＝増産）を合意しており、異常気象の寒波が発生するか、大規模な供給障害が発生しない限り、需給緩和圧力を背景とした値下がり傾向が大きな修正を迫られる可能性は低い。

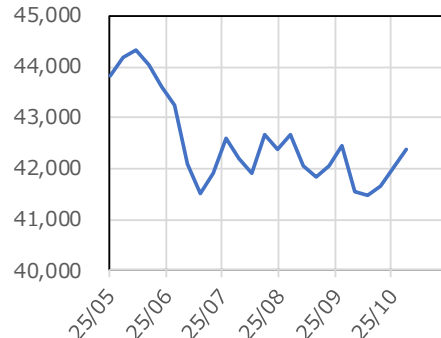
ウクライナ軍は前週もロシア石油関連施設に対する大規模な攻撃を続けている。また、トランプ大統領は10月15日、インドのモディ首相がロシア産原油の購入停止を約束したと発言した。インド外務省は否定しているが、ロシア産の供給リスクが意識された際には、50ドル台後半で修正高が促される可能性は残されている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



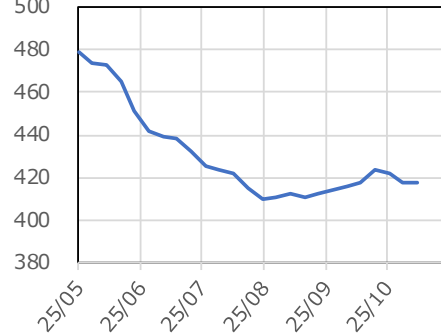
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

